

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターこまつ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和6年2月9日（金）13:00~14:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

不思議と思う心を中心に 子ども一人ひとりの率直な驚き、疑問、夢を大切に育みます

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

自然と人とのかかわりで育つもの 不思議だな やってみたい  
当園では『不思議と思う心』に寄り添い、子どもたち一人ひとりの率直な驚き、疑問、夢を大切に全職員が子ども達の育ちに良い環境となるよう努めます。生きる力を育むために、7つの活動を展開している他に、コーナーあそびを充実させ、その中で子ども達が四季を通していろいろな活動体験に触れ、「主体性」や「気付き」「興味」を引き出していける環境を整えていきます。保護者と共に成長した喜びを共有できるように、コーナーあそびの計画を立てながら、子どもの姿を語り、職員一人ひとりが専門知識を理解し、学びを深めていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・グランドデザインとして教育・保育理念が見える化され、研修や会議等で確認・共有している。 ・重点目標について。意識して教育・保育を行っている。今後は、更に子どもの姿や成長を語り合いより良い保育に繋げていく。	4	・グランドデザインにイラストがあるため分かりやすい。 ・グランドデザインや重点目標は日々の子どもの様子から、職員が意識して保育をしていることが分かる。また、職員一人一人が子どもに寄り添っていて安心して預けられる。 ・グランドデザインについては、法人で共通しているが、園毎にあってもよいのではないか。園の特色がでると、より保護者にも伝わるのではないか。
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・各コーナーで立案、実践、反省を行うことができているが反省を次の活動に生かし切れていないと感じる。 ・環境への配慮として、温かく家庭的な雰囲気や環境を大切にしながら季節を感じられるようにしている。	4	・日々子どもから様子を知る中で、楽しんでいることが分かる。また、様々なコーナーが開かれており、子どもが自分で選べる環境が良い。(家庭だと、遊びが限られてしまうため) ・季節と遊びを結び付けた活動を通して、子ども同士の関わりから成長を感じることができている。 ・季節感ある環境や子どもが五感を使って、主体的に遊べる保育環境が整えられていた。 ・保育の根幹となる項目であり、遊びの中からも学びに繋がっている。
<b>III. 子どもにとっては</b> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・子ども一人ひとりの個性を認め、伸び伸びと過ごすことができている。また、子どもの気づきやつぶやきに耳を傾け、環境を整えるよう務めた。 ・保育の中で、日本の行事や伝統文化などについて、楽しみながら触れることができている。	4	・子どもたちが伸び伸びと、安心して過ごせる居場所が出来ている。一人ひとりに寄り添っている。 ・一人一人に寄り添うことで、子どもの自主性や自己肯定感にも繋がっている。 ・丁寧な関わり、接してくれている。行事や伝統文化に触れる機会も計画してくれている。 ・年齢に応じた関わりをしている。

<p><b>IV. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参加を通して、園での子どもたちの様子を見ていただくことができた。また、個別面談では、園の様子や家庭での様子、悩みなどを共有することができた。</li> <li>・情報発信については、ブログや掲示以外にも、子ども、保護者、保育者にとっての保育の見える化を意識した。今後、7つの活動についても、より知ってもらえるよう情報発信をしていきたい。</li> </ul>	4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参加では、普段家庭ではみられない子どもの様子を知ることができた。懇談会では、4月からの成長の様子をスライドで分かりやすく伝えていただくと共に、子どもの様子を保育者と保護者と共有ができた。</li> <li>・保育の見える化として、玄関のコーナーボードや写真の掲示に力を入れていた。</li> <li>・送迎時に子どもの様子をよく教えてくれていた。</li> <li>・子供の成長を見守る大人として、子どもの事を常によく考えて、保護者と共に一緒に子どもを育てる体制がとれている。</li> <li>・子どもだけでなく、保護者の支援も丁寧にされている。</li> </ul>
<p><b>V. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログや掲示板で園の活動について情報発信を行っている。ブログのアップ数や親子ひろばに遊びに来る親子の人数も増えている。一方で、地域との関わりや交流については、散歩で出会った方や畑、お茶会など関わりのある方もいるが十分ではないと感じている。</li> <li>・園を身近に感じてもらうよう、近隣のショッピングモールで浜松エリアの園と共同し出張親子ひろばを開催した。</li> </ul>	3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育等の情報発信しているが、支援が必要な所に届いていないこともあるのではないかな。</li> <li>・交流は少しずつ増えているが、出張ひろばという取り組みも行っていることを、もっと広く知ってもらえるように。</li> <li>・親子ひろばや園外の掲示板で園を知っていても、園に入るという敷居が高いと感じる。</li> <li>・見える化に力を入れているが、ブログのアップ数が月2回は少ないのではないかな。毎日掲示している写真をそのままブログとしてアップしても良いのではないかな。</li> </ul>
<p><b>VI. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が活かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりの個性や得意分野を保育の中で生かすことができている。</li> <li>・快適な職場づくりとして、日々の挨拶や大切にすると共に、「ありがとうカード」を活用し、お互いに感謝の気持ちを伝えていく。</li> <li>・園内外の研修やカンファレンス等で保育を振り返り、学びを深めている。</li> </ul>	4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で挨拶をしている。研修等で職員の繋がりが感じられる。</li> <li>・職員が笑顔でいることは基本的なことではあるが、働きやすい環境、働き甲斐のある職場という事にも繋がっているのではないかな。</li> <li>・職員一人一人の特技、個性が活かされている。</li> <li>・ありがとうカードを使用している取り組みについては、仕事の意欲や職員間のコミュニケーションにも繋がるのではないかな。</li> <li>・様々な年齢層の職員がいるが、調和がとれていると感じる。</li> </ul>